

令和4年度事業計画

1. 基本方針(中長期基本計画)

公益財団法人日本相撲連盟は、「相撲の底辺拡大」「相撲の国際化推進」「競技力の向上」を三大目標に掲げ、その実現に向けて財源の確保と組織の充実強化に努め、加盟団体である都道府県相撲連盟、日本学生相撲連盟、日本実業団相撲連盟、全国高等学校体育連盟相撲専門部及び日本女子相撲連盟と連携・協力して諸事業を積極的に推進していく。

- ・ 日本アマチュア相撲最高位の大会である全日本相撲選手権大会をはじめとする主要大会の充実を図る
- ・ 国民体育大会相撲競技の開催に向けて、開催地(行政及び都道府県相撲連盟)と連携を密にし、競技会運営に万全を期すため、協力、助言、指導に当たる。
- ・ 国際大会に、役員・男女日本代表選手団を派遣し、全階級での好成績を目指すとともに、各国の指導者・選手との交流を通じグローバルな視野をもって相撲競技の普及及び競技力の向上を図る。
- ・ 普及活動を強化・推進し、会員数の拡大を図る。特に女子相撲については、国体競技種目入りを推進する。
- ・ オリンピック正式競技採用を目指す。
- ・ 中学校体育授業における「相撲」授業の採用校・採用希望校拡大に努め、安全で効果的な授業を展開できるよう指導法の研究を重ねるとともに、授業を主導する指導者を育成する。
- ・ 競技活動・スポーツ指導における暴力行為根絶、ハラスメント防止、アンチ・ドーピング等「スポーツ・インテグリティ」(誠実性、健全性、高潔性)の確保について、当連盟においても更に周知・徹底していく。
- ・ ガバナンスコードに沿った組織運営を徹底するとともに、加盟団体への適切な指導を充実する。
- ・ 組織運営の根幹である財政基盤を確立し、事務局体制の強化を図る。

2. 事業計画

令和3年度における事業計画を、「定款第4条(事業)」の各号に掲げる事業区分に応じて、以下のよう
に定める。

(1) 相撲の普及及び振興に関する事業

- ① 中学校相撲授業の授業協力者の育成と授業協力者活用システムを構築する。
- ② 相撲採用の中学校に向けた教材の充実
- ③ 公認スポーツコーチ資格取得推進と資格取得者の活用検討
- ④ 都道府県相撲連盟又はブロック相撲協議会の主催講習会等への講師派遣
- ⑤ 後援競技会等への役員(公認審判員等)の派遣
- ⑥ 女子相撲の普及活動の積極的推進
- ⑦ 全国小学生相撲優勝大会各ブロック予選会の開催
- ⑧ 全国わんぱく相撲大会、全国わんぱく女子相撲大会の主催とJCとの連携
- ⑨ 海外への相撲指導者派遣その他の海外における普及に関する協力

⑩ 相撲経験のない指導者への講習会検討

- (2) 相撲に係る講習会の開催及び指導者の養成に関する事業
- ① 全国小・中・高・大学及び社会体育相撲指導者研修会（日本相撲協会との共催）
令和4年8月予定
 - ② 第9回相撲指導者研修会(日本武道館との共催)
令和4年11月予定
 - ③ 令和4年度学校相撲実技指導者講習会（スポーツ庁との共催） 令和5年2月予定
 - ④ 公認相撲コーチ I 養成講習会(専門講座 日本スポーツ協会主催)
令和5年2月予定
 - ⑤ スポーツインテグリティ講習会の開催(年3回)
 - ⑥ 理事会、全国加盟団体代表者会議でのガバナンスに関する啓発活動
 - ⑦ その他の講習会等の開催及び支援
 - ⑧ 事務手続き講習会(加盟団体事務担当者)の開催
- (3) 相撲の競技力の向上に関する事業
- ① ナショナルチーム選手の強化
 - ② 女子相撲選手の競技力向上
 - ③ 外国選手に対する戦略研究
 - ④ ジュニア選手の育成強化(男・女)
 - ⑤ 国際大会の予選大会実施
 - ⑥ 競技力向上に関する研究
- (4) 相撲に係る規則の制定に関する事業
- ① 各種規約類についての検討・見直し
- (5) 相撲の審判員の養成及びその資格の認定に関する事業
- ① 認定講習会の充実
 - ② 認定講習会での講師育成の推進
 - ③ 女子審判員の育成
 - ④ ブロック協議会主催公認審判員養成講習会への支援
 - ⑤ 加盟団体主催公認審判員養成講習会への支援
 - ⑥ 国際公認審判員講習会の開催等による国際公認審判員の育成
 - ⑦ 認定講習会でのコンプライアンス教育導入
 - ⑧ 初心者向け講習会の検討
- (6) 相撲の日本選手権大会その他の競技会の開催に関する事業
- ① 競技会の主催、共催及び後援 詳細別紙(令和3年度主要大会予定表)
 - ② JOCカップ小学生ブロック大会への支援等、ブロック大会の推進
 - ③ その他の競技会の開催の支援
- (7) 相撲の国際競技会等への代表参加者の選定及び派遣に関する事業
- ① 2022 ワールドゲームズバーミングハム大会(米国アラバマ州)への男女選手、役員の派遣
 - ② その他海外への相撲遠征や強化チームの海外派遣への協力
- (8) 公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人日本オリンピック委員会に、我が国のアマチュア相撲界を代表する唯一の団体として加盟すること。
- ① JOC諸事業への積極的参加、JSPO諸事業への協力
- (9) 相撲に関する国際的な競技連盟に、我が国のアマチュア相撲界を代表する唯一の団体として加盟すること。
- ① GAISF等の事業への参加に向けた取組
- (10) この法人の目的を達成するために必要なその他の団体に、我が国のアマチュア相撲界を代表す

る唯一の団体として加盟すること。

- ① 日本武道協議会等
- (11) この法人の会員登録に関する事業
- ① 会員登録制度の手続き簡素化(システム更新検討含む)
 - ② 新規会員登録の促進
 - ③ 賛助会員拡大の検討
- (12) 相撲段級審査に関する事業
- ① 段位登録の奨励と高段者の昇段申請促進
 - ② 段位審査会の実施(年3回)
 - ③ 相撲級位制度の普及(小・中学生対象)
 - ④ 高段者に対する差別化を検討し、インセンティブを高める
- (13) 相撲に係る刊行物の発行に関する事業
- ① 機関誌「ちから」の年鑑誌発行(年1回)
 - ② ホームページの充実
 - ③ 相撲の魅力の外部発信
 - ④ 大会動画配信の推進
 - ⑤ 大会動画記録の蓄積
 - ⑥ 報道機関への情報提供
 - ⑦ 月刊「武道」その他の専門誌への執筆、寄稿
 - ⑧ 記者懇談会の開催
- (14) 相撲の競技者のアマチュア資格の認定に関する事業
- ① アマチュア復帰申請者の認定(年3回)
- (15) 相撲に係る表彰に関する事業
- ① 優秀団体・優秀個人等の表彰
(相撲功労賞・普及振興精励賞・国民体育大会開催尽力功労賞・永年出場功労賞・最優秀賞・優秀賞)
 - ② 関係団体への表彰候補者の推薦
(日本武道協議会表彰・国民体育大会功労者表彰・日本スポーツ賞表彰 他)
 - ③ 表彰制度の効果的運用の検討
- (16) 相撲に係る医事又は科学に関する事業
- ① ドーピング・コントロール事業の推進
 - ② 主要大会でのドーピング検査実施
 - ③ ドーピング・コントロール啓発活動の積極的展開
 - ④ 新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン等の見直し
 - ⑤ AEDの競技会場内設置
 - ⑥ 外傷の継続的実態調査・把握
 - ⑦ スポーツ医科学の専門家養成
スポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツデンティスト、
スポーツファーマシスト、スポーツ栄養士等
 - ⑧ スポーツと健康に関する啓蒙活動(機関誌「ちから」土俵の健康など)
 - ⑨ 日本武道学会相撲専門分科会の積極的活用
 - ⑩ 特別支援学校での相撲指導法の検討
 - ⑪ 中学校部活動指導書の活用と検証
- (17) 相撲に係る用具、施設等の公認及び業者の指定に関する事業
- ① まわしの公認化検討
- (18) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- ・ ガバナンスコードに沿った組織運営
 - ① ガバナンスコードに沿った役員選考の検討
 - ② 役員候補者の推薦等に関する規程の見直し

- ③加盟団体の女子役員参画推進
- ④有識者の相撲理解者の発掘
- ⑤総務委員会内に将来構想検討会設置することによる次世代役員の育成
- ⑥マーケティング担当役員の配置検討

・財政基盤の確立

- ① 日本相撲振興会会員組織の充実
- ② 日本スポーツ振興センター及び日本オリンピック委員会等関係団体への助成金の増額要請
- ③ 主催大会開催時におけるチケット販売収入、広告収入、物販収入等の拡大
- ④ 中長期計画 2022～2026「財務の健全性の確保」の推進
- ⑤ 諸経費の削減
- ⑥ マーケティング研修会への参加

・事務局体制の強化

- ①人材の育成
- ②職務分掌の明確化
- ③事務処理の効率化
- ④加盟団体等事務担当者研修会の開催

以上